

雄勝小生メニュー考案

道の駅おがち・あすから登場 期間限定ラーメンとアイス



湯沢市小野の道の駅おがちであす18日から、雄勝小学校（渡邊博久校長）の6年生21人が考案したメニュー2品が期間限定で登場する。道の駅のレストランニッ森で16日に試食会が開かれ、児童が出来栄を確かめた。

お目見えするのは、メインの具材に鶏胸肉のチャーシューを使い、すりおろしと刻んだショウガを盛り付けた「ほっこり生姜塩ラーメン」（900円）と、同市秋ノ宮産のイチゴのジェラートや、さいころ状にカットした果肉などを餅で包んだ「もちフルアイス」（500円）。ラーメンのスープは鶏がらベースで、アイスにはあんこと、抹茶パウダーを振った生クリームが添えら

れている。

メニュー開発は「総合的な学習」がきっかけ。同校では地域に貢献する意識を育もうと2023年度から、民間事業者が抱える新商品開発や誘客促進、販路開拓といった課題を6年生児童が聞き取って解決策を提案している。24年度は「地域のために 雄勝っ子プロジェクトII」と銘打ち、道の駅を含む4事業者と対応を検討している。

ラーメンとアイスは3カ月間ほど提供する計画。このほかに秋ノ宮産のイチゴを使ったパフェ（価格未定）も提案されており、収穫期の初夏以降に登場する予定だ。

道の駅との連携は24年度の第1弾。試食サイズのラーメンとアイスを味わった児童からは「おいしくて手が止まらない」といった声が上がった。食べ終わってからパフェが登場すると「おかわりがほしい」などの感想が聞かれた。

ラーメンを考案した佐々木結々さんは「実際に調理して味のバランスを取るのが難しいと思っていたけれど、イメージ通りの一杯に作ってもらった。ショウガの食感が面白く、食べたら体が温かくなった」と笑顔。アイスを考えた吉田長親さんは「自分のアイデアが認められてうれしい。見た目も含め、想像をはるかに超えた仕上がりになっていて驚いた」と話した。

道の駅には23年度も当時の6年生がメニューを提案している。このうち、カフェオレのジェラート（シングル350円、ダブル400円）は同所のレギュラー商品になった。同市と交流のある青森県平内町産のベビーホタテ、市内産野菜が入った中華丼（900円）は3月末までの期間限定で扱っている。

佐藤光一駅長（70）は「地元の子どもの発想を形にしたかった。多くのお客さんに味わってもらいたい」と話した。（小林智彦）

